

## 《ヘルメットの護る仕組み》 を正直にお話します。

ヘルメットの「衝撃吸収性能」には、  
実は限界があるって知っていましたか？



「衝撃吸収性能」と「かわす性能」、  
例えて言うならクルマの両輪。  
どちらも欠けてはいけない  
大切な働きです。

すべてのヘルメットが、どの方向からの  
衝撃でも吸収できるわけでもないし、そ  
して、頭を護るための保護性能は「衝  
撃吸収性能」だけではないんです。

### では、どうやって 頭を護っているのか？

アライでは、『ヘルメットがぶつかったと  
同時に衝突面をすべらせて、できる限  
り衝撃をかわして、その衝撃によるエ  
ネルギーを頭部に向かわせないよう  
にする』と考えます。

現実でのヘルメットの動きというのは、  
ぶつかった後に必ずすべっています。  
ですから、この『かわす性能』は衝撃吸  
収性能と同等に必要な性能なんです。

### ということは…!!

よりすべりやすいようにしておけば、より  
護れるヘルメットとなれるわけです。逆  
に、すべりやすい「丸く・滑らかで剛い」  
シェルでなければ、万が一の際には…  
いかにしてすべり続け、衝撃を止めな  
いで運動エネルギー（衝撃）を減衰さ  
せていくかがキーポイントなのです。



『かわす性能』のしくみと大きさを  
詳しく紹介する動画があります。  
ぜひ、ご覧ください！

<https://youtu.be/SJy-VszjHl>



Value of Arai 2022  
—ヘルメットの動きを知る—



アライヘルメットは、この仕組みに注目して **かわす性能** をしっかり提唱し続けています。  
ヘルメット選びの際には、**かわす性能** も判断材料に加えていただけたら嬉しいです。